

《無断転載を禁ずる》

2026年度 群馬県立女子大学文学部国文学科

転入学及び編入学試験

採点のポイント

「日本語学・日本文学・中国文学（漢文学）及び日本語教育学」

問題一

問題一は、『小野篁集』を題材に、古文の基礎的な文法や語彙の知識に基づいて品詞分解や現代語訳が正確にできるかどうか、また、そうした基礎的な知識を応用して文脈を読み解き、小野篁と右大臣、その娘との関係性とやりとりを理解して的確に説明できるかどうかをみました。

問題二

問題二は、「白樺派」「芥川龍之介」を問いました。明治、大正、昭和にかけての文学史の流れを踏まえた上で、具体例を示しつつ説明できるかどうかをみました。

問題三

問題三では、母音と子音、接辞、古典語における格助詞「が」について、それぞれの事項を正確に把握できているかどうか、また、具体的な言語事象を挙げて説明できているかどうかをみました。

問題四

「為A所V」の受け身の句型や「徒・・・而已」の限定句型についての語法知識を問いました。また「所以」の意味が理解できているかどうかを問いました。さらに梅の隠喩をめぐって、文章全体の主題や意図を理解する力が問われます。

問題五

問題五では、言語転移、フォーカス・オン・フォームについてそれぞれの事項を正確に把握できているかどうかをみました。